

調査結果について

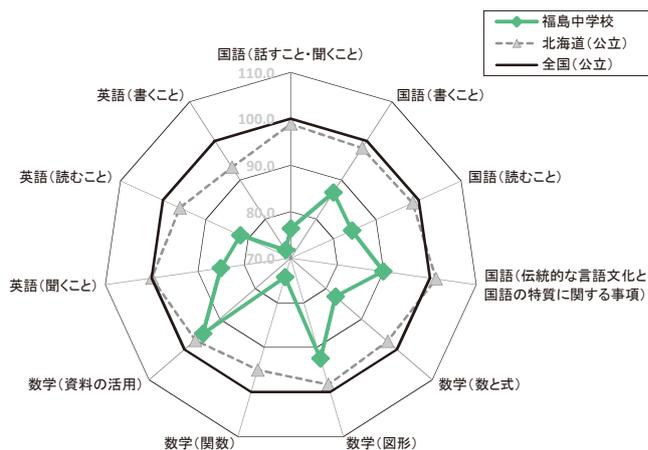
小学校では算数の「図形」と「量の測定」を除き、全国の平均を上回る結果となっています。家庭学習についてのアンケートでは「計画を立てて勉強している」と答えた児童・生徒が、全道・全国平均よりも高くなっています。

今後とも子どもたちの学力向上について、家庭・学校・教育委員会が一体となって取り組む必要があります。

■福島中学校の状況及び学力向上策（学校数：1校、生徒数：23人）

【教科全体の状況】

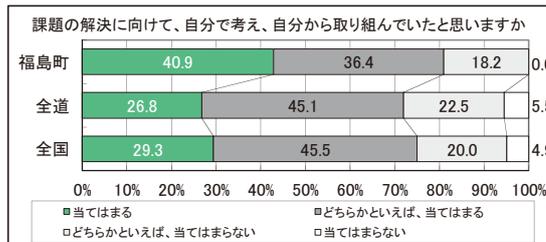
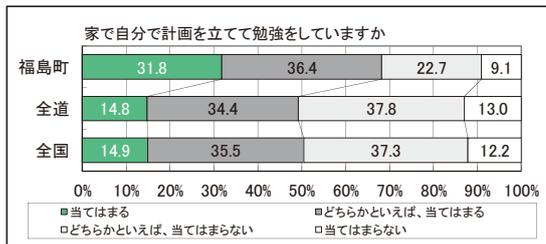
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



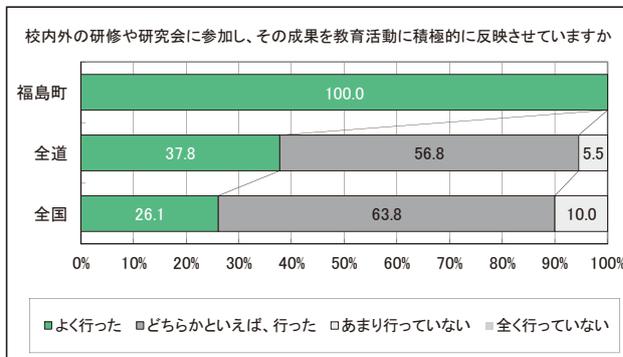
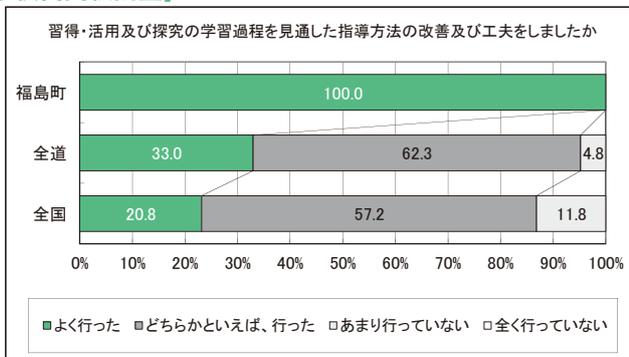
＜福島町の平均正答率＞

国語	数学	英語
61	52	45

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、校内で授業改善が推進し、学力が向上したと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後や長期休業中の補充的な学習サポートを強化した結果、家で自分で計画を立てて勉強する生徒が増加したと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させた結果、授業改善が推進され、生徒が課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと考えられる。

【福島町の学力向上策】

- ◎基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎町費負担教諭配置による習熟の程度に応じた少人数指導の充実
- ◎思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの強化